



市政記者各位

令和5年1月10日  
道路下水道局

世界銀行が、日本の自治体と連携した1年以上の技術協力は日本初

## インド共和国アーメダバード市への 下水道に係る技術協力を行います！

福岡市は、世界銀行東京開発ラーニングセンター(TDLC)と「都市における課題の解決に向けて協力する覚書(都市パートナーシッププログラム)」(平成30年6月)を締結し、途上国の都市開発等に対して、様々な支援を行っています。

この度、福岡市ではこの覚書に基づいて、TDLCとともに、インド共和国アーメダバード市に対して下水道管理システムの改善に係る技術協力を行います。今回はその第1弾として、同市幹部職員等、総勢十数名の現場視察等を受け入れることとなりました。あわせて副市長表敬にも来られますので、ぜひご取材くださいますようお願いいたします。

### 1 副市長表敬

- (1)日 時:令和5年1月17日(火)16:45~17:00 ※受付は16:15~
- (2)場 所:福岡市役所 9F 特別応接室
- (3)来訪者:アーメダバード市職員・世界銀行職員 11名

### 2 視察スケジュール

(1)期 間:令和5年1月18日(水)~20日(金)

日程	時間	内容(施設イメージは次ページ)	場所	住所
1/18(水)	14:20 ~ 15:50	水処理施設 汚泥固形燃料化施設	西部水処理センター	西区小戸 2-5-1
	16:20 ~ 16:50	リン除去回収施設	和白水処理センター	東区塩浜 3-2500
1/19(木)	14:00 ~ 15:00	下水バイオガス発電施設 再生水施設等	中部水処理センター	中央区荒津 2-2-1
1/20(金)	11:20 ~ 12:00	浸水対策施設	山王雨水調整池	博多区山王 1-9

※ 現場視察における取材(1/18~1/20)については、事前のご案内が必要なため、取材日の2日前迄にご連絡下さい。



【本リリースに関するお問い合わせ先】  
道路下水道局 総務部 政策調整課 八島、森川  
電話 092-707-3853 (内線 3117)



**水処理施設(西部水処理センター)**

イメージ図

各水処理過程での水質

流入水 反応タンク 最終沈殿池 放流水

放水

全水処理センターの処理能力:約 70 万 m<sup>3</sup>/日  
 (福岡市が管理する6つの水処理センター)

**汚泥固形燃料化施設(西部水処理センター)、リン除去回収施設(和白水処理センター)**

下水汚泥から固形燃料を製造する施設

下水汚泥処理能力 :100t/日  
 固形燃料製造量 :7,267t(R3)

下水汚泥からのリン除去回収システム「MAP 法」の採用は、**日本初**

リン除去回収施設

和自・東部水処理センターの再生リン回収量  
 約 100t(R4 見込)

**下水バイオガス発電施設、再生水施設(中部水処理センター)**

下水バイオガスを利用した発電施設

中部・和白水処理センターの発電電力量  
 総発電電力量:約 12.9GWh[約 3,760 世帯相当](R3)

再生水の供給面積・箇所数は、**日本一**  
 供給面積 1,528ha、供給数 501 箇所

下水処理水を再生水にする施設

中部・東部水処理センターの供給量  
 平均約 4,652m<sup>3</sup>/日(R3)

**浸水対策施設(山王雨水調整池)**

博多駅地区の雨水整備水準(時間雨量 約 80 mm/時間)は、**日本最高水準**

山王雨水調整池:約 28,000m<sup>3</sup>(25mプール 75 杯分相当)  
 山王 1 号雨水調整池(野球場):約 13,000m<sup>3</sup>  
 山王 2 号雨水調整池(地下) :約 15,000m<sup>3</sup>



◆**世界銀行 東京開発ラーニングセンター(TDLC)**

平成 16 年より日本政府と世界銀行のパートナーシップにより運営されている信託基金プログラムです。日本の都市開発の経験や知見を世界につなぐナレッジハブとして、都市開発実務者向け対話型研修(テクニカルディープダイブ)、融資事業向け技術協力、都市の知見創出と発信、都市パートナーシッププログラムの4つのコア事業を通じて、世界銀行が途上国で取り組む都市開発事業の成果の向上に貢献しています。

なお、融資事業向け技術協力は、日本の自治体関係者や都市開発専門家の知見と専門知識を活用し、途上国で実施されている世界銀行の融資事業や準備段階の案件の成果向上に向けたアドバイザー支援、分析、能力開発支援などを行っています。

◆**都市パートナーシッププログラム**

都市パートナーシッププログラムとは、世界銀行の東京開発ラーニングセンターが、日本の都市と協力して推進するプロジェクトであり、途上国の都市開発を促進するものです。

福岡市は第 12 回アジア太平洋都市サミットを契機に世界銀行と関係を深め、福岡市の取組を評価した世界銀行と、平成30年6月に覚書を締結しました。



世界銀行アジアディレクターバスケス氏(写真中央)と福岡市長高島氏

◆**アーメダバード市への技術協力の概要について**

目的:アーメダバード市の下水道管理システムの改善

期間:令和 4 年 10 月～令和 5 年 12 月(準備期間含む)

内容:①**アーメダバード市職員等の福岡市への視察**

← **第1弾**

②福岡市職員のアーメダバード市への短期派遣

③下水道管理システム(水処理・汚泥処理・管きよ等)の改善策の提案等

インド共和国グジャラート州アーメダバード市

面積: 464km<sup>2</sup>

(福岡市 341km<sup>2</sup>)

人口: 約 714 万人【2021 年推計値】

(福岡市 約 163 万人【2022 年 12 月推計値】)

